



2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月1日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	128,083	△0.2	1,726	△48.8	1,636	△55.2	364	△81.2
2019年11月期第3四半期	128,368	2.0	3,373	△8.7	3,649	△4.0	1,940	△5.2

(注) 包括利益 2020年11月期第3四半期 782百万円 (△65.0%) 2019年11月期第3四半期 2,235百万円 (△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	29.30	—
2019年11月期第3四半期	156.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	88,906	40,238	41.0
2019年11月期	88,175	40,085	41.4

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 36,444百万円 2019年11月期 36,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年11月期	—	23.00	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△1.3	2,400	△41.9	2,310	△46.9	540	△70.6	43.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期3Q	12,677,900株	2019年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	2020年11月期3Q	249,486株	2019年11月期	249,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期3Q	12,428,418株	2019年11月期3Q	12,428,424株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2020年11月期の個別業績予想 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	1.0	800	△66.9	440	△72.7	35.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動が抑制され、個人消費や輸出、生産の減少に加えて雇用情勢も弱含みとなるなど、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。

食品物流業界におきましては、緊急事態宣言を受け、外食需要が大きく減退したことに加え、内食需要は、急激な需要の高まりにより、人手の確保や配送において調整が取りづらいつながりました。緊急事態宣言解除後は、経済活動が徐々に再開しているものの、依然として新型コロナウイルス感染拡大の懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画(2019年度から2021年度)を推進しております。

中期経営計画の2年目となる2020年度は、事業戦略の確実な遂行により、確かな成長をめざす年として、収益力の強化、オペレーションのシンプル化、機能拡充投資、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退が大きく、厳しい事業運営を強いられる展開となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,280億83百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は17億26百万円(同48.8%減)、経常利益は16億36百万円(同55.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億64百万円(同81.2%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

(共同物流事業)

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引が増加したものの、3月以降は急速な消費の減退により、業務用食品を中心に出荷物量が減少し減収となりました。利益面は、適正料金の收受および運送業務の合理化など改善に努めましたが、出荷物量の減少や省人化機器への投資が先行したことなどにより前年を下回りました。

この結果、共同物流事業収益は846億42百万円(前年同期比0.3%減)となり、営業利益は1億71百万円(同90.2%減)となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアや外食需要は落ち込みましたが、チェーンストアなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、営業収益増加による利益増および適正料金の收受などが進捗しましたが、コンビニエンスストアや外食向けの出荷物量が減少したことによる影響やセンター立上げによる費用増加などにより前年を下回りました。

この結果、専用物流事業収益は386億79百万円(前年同期比1.0%増)となり、営業利益は11億90百万円(同5.0%減)となりました。

(関連事業)

関連事業は、施設工事が堅調に推移したものの、車両販売や燃料販売は減少しました。

この結果、関連事業収益は47億61百万円(前年同期比8.4%減)となり、営業利益は3億41百万円(同0.6%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億30百万円増加し、889億6百万円となりました。資産の増加の主な要因は、受取手形及び営業未収入金の減少18億43百万円、現金及び預金の減少6億48百万円および投資有価証券の減少2億34百万円はありましたが、有形固定資産の増加29億51百万円、未収入金等の増加による流動資産その他の増加5億円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億77百万円増加し、486億67百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び営業未払金の減少8億13百万円、未払法人税等の減少5億92百万円、退職給付に係る負債の減少2億51百万円および未払賞与等の減少による流動負債その他の減少15億82百万円はありましたが、短期借入金の増加30億23百万円、長期借入金の増加8億8百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加し、402億38百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の減少2億7百万円はありましたが、非支配株主持分の増加2億48百万円、退職給付に係る調整額累計額の増加1億17百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期までの各事業の進捗などを勘案した結果、下表のとおり連結および個別の業績予想を修正しております。5月の緊急事態宣言解除以降、個人消費には持ち直しの動きがみられたものの、消費行動の変化や新型コロナウイルス感染拡大の懸念から、外食需要などの回復は足踏み状態が続いております。

このような状況を踏まえ、今後の見通しを検討した結果、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

業績予想における事業環境の前提といたしましては、経済活動が従前と同様の水準まで戻らないと想定したものであり、実際の終息時期によって変動する可能性があります。

2020年7月2日付の「2020年11月期 第2四半期決算短信」で公表しました、2020年11月期の連結業績予想および個別業績予想との差異は以下のとおりです。

2020年11月期の連結業績予想数値の修正（2019年12月1日～2020年11月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	172,000	2,800	2,710	910	73.22
今回修正予想（B）	170,000	2,400	2,310	540	43.45
増減額（B－A）	△2,000	△400	△400	△370	－
増減率（％）	△1.2％	△14.3％	△14.8％	△40.7％	－
（参考）前期実績（2019年11月期）	172,185	4,133	4,350	1,835	147.71

（参考）

2020年11月期の個別業績予想数値の修正（2019年12月1日～2020年11月30日）

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	96,000	1,130	620	49.89
今回修正予想（B）	94,000	800	440	35.40
増減額（B－A）	△2,000	△330	△180	－
増減率（％）	△2.1％	△29.2％	△29.0％	－
（参考）前期実績（2019年11月期）	93,052	2,413	1,610	129.60

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,890	3,241
受取手形及び営業未収入金	21,090	19,247
商品	82	101
貯蔵品	124	134
その他	1,606	2,107
貸倒引当金	△129	△129
流動資産合計	26,665	24,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,235	11,083
機械装置及び運搬具(純額)	12,129	17,051
工具、器具及び備品(純額)	1,252	1,142
土地	21,808	22,348
リース資産(純額)	2,267	2,058
建設仮勘定	2,637	597
有形固定資産合計	51,330	54,282
無形固定資産	1,184	1,267
投資その他の資産		
投資有価証券	2,264	2,029
敷金及び保証金	4,136	4,146
その他	2,647	2,529
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,994	8,652
固定資産合計	61,509	64,202
資産合計	88,175	88,906

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,790	13,976
短期借入金	4,274	7,298
未払法人税等	917	325
賞与引当金	938	969
役員賞与引当金	66	57
その他	8,642	7,060
流動負債合計	29,630	29,687
固定負債		
長期借入金	14,249	15,057
退職給付に係る負債	702	450
資産除去債務	967	981
その他	2,540	2,490
固定負債合計	18,459	18,979
負債合計	48,089	48,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	28,776	28,568
自己株式	△361	△361
株主資本合計	36,686	36,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	664
繰延ヘッジ損益	△7	△1
為替換算調整勘定	67	70
退職給付に係る調整累計額	△884	△767
その他の包括利益累計額合計	△146	△34
非支配株主持分	3,545	3,793
純資産合計	40,085	40,238
負債純資産合計	88,175	88,906

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年8月31日）
営業収益	128,368	128,083
営業原価	121,271	122,707
営業総利益	7,096	5,375
販売費及び一般管理費	3,723	3,648
営業利益	3,373	1,726
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	30	23
受取賃貸料	44	47
持分法による投資利益	19	—
補助金収入	303	8
その他	106	104
営業外収益合計	509	190
営業外費用		
支払利息	82	86
貸与設備諸費用	31	35
持分法による投資損失	—	24
デリバティブ評価損	0	17
和解金	66	—
未稼働設備関連費用	32	97
その他	20	17
営業外費用合計	233	280
経常利益	3,649	1,636
特別利益		
固定資産売却益	32	32
投資有価証券売却益	—	18
関係会社株式売却益	—	6
特別利益合計	32	56
特別損失		
固定資産除売却損	94	150
リース解約損	5	3
特別損失合計	100	153
税金等調整前四半期純利益	3,581	1,539
法人税、住民税及び事業税	1,352	794
法人税等調整額	△65	61
法人税等合計	1,287	856
四半期純利益	2,293	683
非支配株主に帰属する四半期純利益	353	319
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,940	364

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	2,293	683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144	△26
繰延ヘッジ損益	1	6
為替換算調整勘定	△17	2
退職給付に係る調整額	102	117
その他の包括利益合計	△58	99
四半期包括利益	2,235	782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,891	476
非支配株主に係る四半期包括利益	344	306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取得による企業結合)

当社は、2020年8月27日開催の取締役会において、インドネシアの低温物流会社であるKIAT ANANDAグループの、PT Kiat Ananda Cold Storage、PT Ananda Solusindo、PT Manggala Kiat AnandaおよびPT Trans Kontainer Solusindoの4社が実施する第三者割当増資を引受け、子会社化することを決議し、2020年8月28日付で株式引受契約を締結いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	事業の内容
PT Kiat Ananda Cold Storage	インドネシアにおける倉庫事業 等
PT Ananda Solusindo	インドネシアにおける倉庫事業 等
PT Manggala Kiat Ananda	インドネシアにおける国内輸送事業 等
PT Trans Kontainer Solusindo	フォワーディング、船舶貨物事業 等

②企業結合を行った主な理由

KIAT ANANDAグループは、インドネシアに5カ所の冷凍・冷蔵庫と車両590台を有する物流企業であり、特に低温物流に強みを持っております。食品メーカーや外食産業など現地企業のみならず外資企業を主要顧客に持ち、倉庫・輸配送・フォワーディングなど幅広く事業を展開しております。今般、KIAT ANANDAグループ4社を、当社グループに迎えることにより、当社は、インドネシアに物流拠点と輸送網を確保し、成長が期待されるインドネシア市場において高品位な低温物流サービスの提供をめざしてまいります。

③企業結合日

2020年10月30日（株式取得予定日）

④企業結合の法的形式

第三者割当増資の引受けによる株式取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥取得する議決権比率

PT Kiat Ananda Cold Storage	51.0%
PT Ananda Solusindo	51.0%
PT Manggala Kiat Ananda	51.0%
PT Trans Kontainer Solusindo	67.3%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価の対価（現金）	9,040億ルピア
取得原価	9,040億ルピア

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年12月1日至2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	84,877	38,290	5,200	128,368	—	128,368
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	6,574	694	3,446	10,715	△10,715	—
計	91,451	38,985	8,646	139,083	△10,715	128,368
セグメント利益	1,751	1,252	343	3,348	24	3,373

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2019年12月1日至2020年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	84,642	38,679	4,761	128,083	—	128,083
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	7,819	759	3,286	11,864	△11,864	—
計	92,462	39,438	8,047	139,948	△11,864	128,083
セグメント利益	171	1,190	341	1,703	23	1,726

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制の変更に伴い、一部の子会社については、報告セグメントを「共同物流事業」から「関連事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。